

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

尾道市立市民病院

(2) 事業所の所在地

尾道市新高山三丁目1170番地177

(3) 業種

医療業(一般病院)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和8年度 (2026)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	4,398	3,385 23.0	3,415 22.4	3,367 23.4	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	4,398	3,385 23.0	3,415 22.4	3,367 23.4	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する自 己評価	令和5年度は前年度と比較して温室効果ガスの排出量がおよそ1.4%減少した。継続的な排出量の削減に向けて、引き続き各種機器の省エネ型への更新等に積極的に努めていきたい。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する自 己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気使用量は前年より約1.2%増加	GHP空調機2台をエアコンに更新したことにより使用量が増加した。空調の適正な温度設定等の促進を図ったが、院内感染対策のため換気と冷暖房を同時に行ったことで空調利用が増加した。
2	都市ガス使用量の削減	都市ガス使用量は前年より約1.2%減少	老朽化したGHP空調機3台を最新の機器に更新し、2台をエアコンに更新した。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。